

## 重点地域・周年事業の取り組みの一例

### 韓国

日韓交流事業を中長期的に強化していくことを目的として策定された「日韓文化交流5カ年計画」に従って、中堅指導者・専門家の交流や地方における交流、ネットワーク形成の強化を目指した『日韓 NPO 交流』『日韓ジャーナリスト交流』『日韓食文化交流』（→12頁）事業が行われました。



日韓 NPO 交流事業

### 中国

1985年以来、日本研究の拠点として北京日本学研究中心（→28頁）を運営しています。また新機構「日中交流センター」が2006年4月に発足し、「中国高校生の招へい」「ウェブサイト「心連心」「中国地方都市『ふれあいの場』設置・運営」「日中市民交流ネットワーク整備」の事業を実施しました（→22・23頁）。

### 南アジア

#### 【日本・南アジア文化交流5カ年計画、日印交流年】



ICCRとの署名式（ヴァルマ事務局長と小倉理事長、カラン・シン ICCR 会長立会のもと） © 関 暁

インドを中心とする南アジアとの文化交流を強化するために、2007年度からの『日本・南アジア文化交流5カ年計画』を作成しました。この5カ年計画実施への体制整備の一環として、2006年12月にインド文化交流カウンシル（ICCR）と相

互協力についての合意書が締結されました。

また、2006年12月には、ジャパンファウンデーションは、ニューデリー事務所を、多目的ホールなどを備えたニューデリー日本文化センターとして新たにオープンし、「大江戸助六太鼓」公演など、2007年日印交流年の幕開けにふさわしい事業を実施しました（→37頁）。2007年は日印交流年として、文化交流事業を集中的に実施します。

### オーストラリア

#### 【2006年日豪交流年】

日豪友好協力基本条約の締結30周年を記念し、多様な分野での両国の交流、特に草の根レベルでの交流をより活発にすることを旨として、2006年日豪交流年が両国で実施されました。

ジャパンファウンデーションは日豪現代美術展『Rapt!』（→8頁）、『日豪マリンフォーラム』（→28頁）、豪州地方都市を巡回する総合的日本文化紹介キャラバン『ワンダーバス・ジャパン』（→38頁）などの事業を実施しました。

### 米国

日米センター事業（知的交流・市民交流事業）を中心に、多様な事業を展開しています。2006年度は、中西部・南部など、これまで日本との結びつきが比較的弱かった地域への事業展開を強化したほか、「ハリケーン・カトリナ災害復興協力事業」（→24頁）等、新たなテーマへの取り組みも開始しました。また、次世代の知日派・対日関心層の育成のため、「米国若手指導者ネットワーク・プログラム」を立ち上げ、ネットワークの強化に努めました。

### 中東

#### 【中東との交流年（2004年～2006年）】

中東との相互理解を深めるべく集中的に文化交流事業を実施。2006年度には知的交流フェローの招へい（→27頁）、現代演劇の紹介（→9頁）、邦楽グループの巡回公演（→10頁）などが行われました。